

原子炉実験所だより

目次

1. 京都大学原子炉実験所一般公開について	1
2. 将来計画短期研究会の開催について	2
3. 京都大学原子炉実験所平成9年度 「将来計画」短期研究会プログラム	3
4. 原子炉利用研究者グループ総会の開催について	4
5. 原子炉実験所に係る外部評価について（所長 前田 豊）	4
6. 教官の募集について	5
7. 平成10年度京都大学原子炉実験所COE研究員の募集について	6
8. 外国人共同研究者の受入れについて	8
9. 職員の異動	9
10. 委員会メモ（平成9年8月～平成9年10月）	10
編集後記	11

1. 京都大学原子炉実験所一般公開について

京都大学原子炉実験所では、来年（平成10年）4月、下記のとおり一般公開を実施いたします。
多数のご来訪をお待ちいたします。また関心をお持ちの方々へ周知下さるようお願いいたします。

記

日 時：平成10年4月4日(土) 午後1時～4時

場 所：大阪府泉南郡熊取町野田 京都大学原子炉実験所

行 事：・施設見学

臨界集合体棟、原子炉棟（炉室、ホットラボ）、廃棄物処理棟

・ビデオ上映、展示版掲示

原子炉実験所における研究活動の紹介

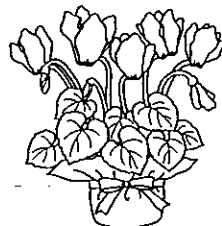
申込方法・団体（10名以上）：団体名、責任者名、連絡先及び電話番号を記載
した申込書（書式は自由）に見学者名簿を添え
てお申し込み下さい（郵送またはFAX）。

・個人：当日守衛所で受け付けます。所定の用紙に氏名
等をご記入下さい（受付は、午後3時30分まで
です）。

申込・問合せ先：〒590-0494 大阪府泉南郡熊取町野田
京都大学原子炉実験所 総務課庶務掛

☎ 0724-51-2310

FAX 0724-51-2600



2. 将来計画短期研究会の開催について

当実験所の将来計画に関する研究会を下記により開催しますので、ご参加下さるようご案内いたします。

記

日 時：平成10年 1 月29日(木) 午後 1 時30分～30日(金) 正午

場 所：京都大学原子炉実験所 事務棟会議室

趣 旨：実験所の将来計画に関する討論

申込方法等：1) ハガキ、FAX、電子メールまたは電話によりお申込み下さい。

2) 申込み先 〒590-0494 大阪府泉南郡熊取町野田

京都大学原子炉実験所 共同利用掛

☎ 0724-51-2312

FAX 0724-51-2600

E-mail : kyodo@post1.rri.kyoto-u.ac.jp

3) 申込期限 平成10年 1 月16日(金) 必着のこと。

4) 記載事項 下記のとおり

記

将来計画短期研究会参加申込書

1. 氏名

2. 所属・職名

3. 宿泊及び食事の希望（あれば○、なければ×）

	1月28日(木)	1 月29日(木)	1 月30日(金)
昼 食	_____		_____
宿 泊			

注：宿泊所は、当実験所の研究員宿泊所です。

**3. 京都大学原子炉実験所
平成9年度「将来計画」短期研究会
プログラム**

日 時：平成10年1月29日(木)・30日(金)

場 所：原子炉実験所 事務棟会議室

1月29日(木)

13:30-13:50	開会挨拶・経過報告	前田 豊 所長
13:50-14:10	将来計画小委員会の活動	将来計画小委員会
14:10-15:10	21世紀に向かっ 核エネルギー研究の新展開	関係研究部門
15:10-15:30	休憩	
15:30-16:30	21世紀に向かっ 中性子利用研究の新展開	関係研究部門
16:30-17:20	中性子ファクトリ計画と討論	将来計画小委員会
17:30-19:00	懇親会	

1月30日(金)

9:00-10:45	関連将来計画 大学炉 JHF 中性子科学研究計画	班目 春樹 (東京大学) 永宮 正治 (高エネルギー加速器研究機構) 向山 武彦 (日本原子力研究所)
10:45-11:00	休憩	
11:00-11:50	総合討論・コメント	将来計画小委員会
11:50-12:00	総括・閉会挨拶	前田 豊 所長



4. 原子炉利用研究者グループ総会の開催について

下記のとおり原子炉利用研究者グループ総会を開催いたしますので、ご参集下さるようお願いいたします。

日 時：平成10年1月29日(木) 12時～13時

場 所：京都大学原子炉実験所 事務棟会議室

議 題：(1) 平成9年事業報告

(2) 平成9年会計報告

(3) 平成10年の活動方針について

(4) 平成10年の予算について

(5) その他

なお、昼食準備の都合上、ご出席の方は将来計画短期研究会への参加申込み時に昼食の可否をお知らせください。

会員各位からの要望については、あらかじめ事務局（共同利用掛）あて文書でお知らせ下されば、前日開催予定の幹事会で検討し、実現の見込みのあるものについて総会に諮りたいと思います。（総会の席上でご提案下さっても結構です。）

5. 原子炉実験所に係る外部評価について

所長 前田 豊

平成8年度に、研究・教育活動、共同利用及び交流活動について、実験所にとって初めての外部評価を受けましたが、引き続き平成9年度も組織運営、研究支援組織、財政及び社会との連携について外部評価を受けることとなり、8名の先生方を外部評価委員として委嘱いたしました。前回は、研究評価等でありましたので外国人にも委員をお願いいたしましたが、今回の課題については外国人に評価をお願いするのは容易ではないと考えられますので、委嘱はしていません。

平成9年10月30日に第一回目の外部評価委員会を開催し、外部評価実行委員会の作成した資料に基づき、所内教官から各項目について説明が行われ、これに基づいて現在外部評価委員の先生方に評価を仰いでいるところであります。

平成10年1月に開催予定の第二回目の外部評価委員会を経て、外部評価の報告書が取りまとめられ、3月には所長に報告されることとなっております。

6. 教官の募集について

原子炉実験所では下記のとおり、教官の募集を行っております。詳しくは原子炉実験所総務課庶務掛気付助手選考委員会（TEL. 0724-51-2310）まで照会下さい。

なお、募集締切りは平成10年1月16日（金）午後5時（必着）となっております。

記

京都大学原子炉実験所は、原子炉による実験及びこれに関連する研究を行うことを目的として設置された全国大学等の共同利用研究所で、6研究部門（19研究分野・1客員分野）、2研究施設より構成されています。

今回の募集は、研究の推進に意欲を持ち、共同利用研究を円滑に行うことにも努力を惜しまない人材を募るものです。

募 集 要 項

I. 募集人員等

区分	職名及び人数	研究部門等	職務の内容	必要とされる資格等
A	助手 1名	核エネルギー基礎 研究部門	極限熱輸送に関連した研究及び関連実験設備の維持管理	博士の学位を有するか、近く取得予定であること
B	助手 1～2名	応用原子核科学 研究部門	原子炉等により生成されるR Iや粒子線による機能材料・新素材の核物性或いは粒子線物性の研究及び関連実験設備の維持管理	

注：今回募集の助手の任期は、原則として10年を越えないものとします。



II. 提出書類

1. 本人による直接応募の場合

- (1)履歴書（市販されている通常規格の用紙を使用のこと。）
- (2)研究歴及び実務歴の概要並びに研究業績（業績一覧及び論文別刷10編以内。特に重要と思われる論文については各4部添付のこと。）
- (3)推薦状（自薦も可）
- (4)応募区分及び応募理由を記した書類（研究歴や実務歴について照会可能な方複数名について氏名・連絡先を記載することが望ましい。）

2. 第三者による推薦の場合

(1)推薦状

この場合、被推薦者本人へは助手選考委員会からその旨連絡し、必要書類を提出していただきます。

III. 提出先

〒590-0494 大阪府泉南郡熊取町野田 京都大学原子炉実験所
総務課庶務掛気付助手選考委員会
（「教官応募関係書類」と表記（朱書）し、郵送の場合は書留にすること。）

IV. 任用予定日

平成10年4月1日

7. 平成10年度京都大学原子炉実験所 COE研究員の募集について

京都大学原子炉実験所では、研究用原子炉（5MW）の高度利用を目指して重点的に推進を図る研究領域において、共同研究プロジェクトに従事していただける高度な研究能力を有する若手研究者を広く公募いたします。

1. 職務内容

本実験所の共同研究プロジェクトを推進するため、所員と共同で一定の職務を分担し研究に従事する。

2. 募集人員

若干名（平成9年度の実績は3名）

3. 資格

- 1) 平成10年4月1日現在で年齢が35歳未満。
- 2) 博士の学位を有するか又は応募時点において学位審査会の審査日が確定しており審査結果待ちであること。
- 3) 任用時において、常勤の国家公務員、大学院生及び研修員等の身分を有しないこと。

4. 任期

任用は単年度とし、翌年は改めて選考を行う。同一人の任用通算期間は2年を越えないものとし、やむを得ない場合でも最長3年までとする。

5. 待遇

- 1) 身 分 講師（中核的研究機関研究員、非常勤）
- 2) 給与月額 30万円程度（経歴等により若干の増減がある）
- 3) 勤務時間 1週間当たり20時間を超えない範囲とする。

6. 提出書類

- 1) 履歴書
- 2) 研究歴の概要および研究業績一覧
- 3) 指導教官の推薦書

7. 公募締切

常時受け付ける。平成10年1月16日(金)を締切日として平成10年度4月採用分を決定。
それ以後の募集は補欠候補者として受け付ける。

8. 選考

京都大学原子炉実験所研究計画委員会で書類選考を行い、協議員会で決定後、本人に通知。

9. 着任時期

4月採用分は平成10年4月1日以降できるだけ早い時期。それ以後は欠員が生じ次第順次任用予定。

10. 送付先および問い合わせ先

〒590-0494 大阪府泉南郡熊取町

京都大学原子炉実験所 総務課庶務掛気付研究計画委員会
(☎0724-51-2310)



8. 外国人共同研究者の受入れについて

氏 名	研 究 課 題	受入期間	受 入 教 官	備 考
Pavel MIKULA (チェコ共和国 科学アカデミー原子核物理研究所 中性子物理学研究部門長)	高分解能中性子線残留 応力測定に関する中性 子光学的研究	平成9.11.9 ～9.12.6	中性子科学研究部門 助手 小野 正義	



9. 職 員 の 異 動

1. 昇 任

平成9年9月1日付け

放射線生命科学研究部門
(同部門講師より)

助教授 古^こ 林^{ばやし} とおる^と 徹^ち

平成9年10月1日付け

核エネルギー基礎研究部門
(同部門助手より)

助教授 日^ひ 引^{びき} たかし^た 俊^し

2. 転 入

平成9年10月1日付け

核エネルギー基礎研究部門
(広島大学工学部助手より)

助 手 さ^さ 佐^{とう} 藤^{ゆう} 裕^き 樹^き

3. 配 置 換

平成9年10月1日付け

経理課用度掛主任
(農学部附属演習林会計掛主任より)

事務官 ふじ^ふ 藤^じ え^え 江^ひ 英^で お^お 雄^う

経理課用度掛

事務官 なか^な 中^か の^の 野^の しん^{しん} 進^{しん} 治^じ

(医学部附属病院医事課外来掛より)

4. 所 属 換

平成9年10月1日付け

経理課経理掛
(経理課用度掛より)

事務補佐員 しま^{しま} 島^{しま} れい^{れい} 子^こ 禮^{れい}



10. 委員会メモ

(平成9年8月～平成9年10月)

平成9年

8月19日	研究計画委員会
8月19日	研究計画委員会将来計画小委員会
8月22日	臨界集合体実験装置共同利用研究委員会
9月9日	研究計画委員会将来計画小委員会
9月12日	保健物理委員会
9月12日	原子炉医療委員会（回議）
9月19日	協議員会
9月19日	原子炉安全委員会
10月21日	研究計画委員会将来計画小委員会
10月24日	研究計画委員会（将来計画小委員会と合同）
10月24日	運営委員会
10月30日	第1回外部評価委員会
10月31日	協議員会
10月31日	原子炉安全委員会

お知らせ

共同利用掛のEメールアドレスが下記のとおりに変更になりましたのでお知らせいたします。

変更前

E-mail:kyodo@rri.kyoto-u.ac.jp

変更後

E-mail:kyodo@post1.rri.kyoto-u.ac.jp

編集後記

いつの頃からか大河ドラマと名打って毎年某TV局では、歴史上名のあ
る人物の物語が放映されるようになって久しい。今年は「毛利元就」に人
気があるようだ。この番組もつい半年ほど前始まったと思っていたが、も
う一年が過ぎようとしている。「光陰矢のごとし」とはよく言ったもので、
時日の経つ速さを感じさせられる。話を元に戻して、元就と言えば、「3
本の矢の教え」はよく知られるところである。これは中国の「西秦録」と
言う書物に見られる故事に基づいたフィクションと言われている。元就が
実際に残した遺訓は「戦国武将の心がけ14ヵ条」である。その中で3兄弟
(毛利、吉川、小早川の三家)が互いに提携、協力しあうことが、毛利家
が永続し、吉川・小早川両家の隆昌にとって大切であることを説いている。
後の輝元の時代に起こった関ヶ原の戦いにおいても、この精神は引継がれ
ていたように思う。

また、「中国史こぼれ話」によると、モンゴルにもこれに似た話がある
と言う。仲の悪い5人の息子たちを見た母親のゴアは、それぞれの息子に
矢を1本ずつ折らせた後、5本束ねた矢は容易に折れないと言う教訓を与
えたという話である。ちなみに5人兄弟の末っ子のボドンチャルが後のチ
ンギス・ハンの先祖に当たると言われている。

時代やお国柄が違って、現代においても通じる同じような教訓が存在
していることを知った。いつの時代、世においても人の和と協調は何より
も優ることを改めて教えられた思いがする。今日にあっては、原子炉実験
所を取り巻く状況は必ずしも楽観できるものではなく、いろいろな意味に
おいて苦難に直面していると言える。このような時期にこそ、先人の教え
を思い起こして束ねた矢の強さを発揮したいものである。